

北九州市の財政状況と 起債運営について

平成29年10月



北九州市
City of Kitakyushu

1. 北九州市の概要

北九州市のプロフィール	4
「ものづくりの街」北九州市	5
「世界の環境首都」北九州市	6
地方創生の「成功モデル都市」に向けて	7
Ⅰ しごとをつくる	8
Ⅱ 新しいひとの流れをつくる	9
Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	10
Ⅳ 時代に合った魅力的な都市をつくる	11
Ⅴ 北九州市の「国家戦略特区」及び関連事業について	13

2. 北九州市の財政状況

歳入決算額の推移	15
市債発行額及び市債残高の推移	16
歳出決算額の推移	17
健全化判断比率について	18
公営企業の経営状況について	19
地方三公社の決算状況について	20
外郭団体の決算状況について	21
行財政改革の取り組みについて	22

3. 北九州市の起債運営について

北九州市の起債運営について	24
平成29年度市債発行計画	25
平成28年度市債発行実績	26

4. 北九州市債の活用状況について

北九州市債の活用状況	28
------------	----

日本新五大夜景都市に認定

北九州市には、観光地として人気の皿倉山から、工場夜景やイルミネーションなど、キラキラ輝く夜景を楽しむスポットがたくさんあり、日本新五大夜景都市に認定されています。



1. 北九州市の概要

北九州市の概要

発足	昭和38年(1963年)2月、5市合併により誕生 五大市に次ぐ全国6番目の政令市
面積	491.95 km ²
人口	966,628人(平成29年1月1日現在)
世帯数	480,615世帯(平成29年1月1日現在)

東アジアに近い北九州市

- ・ アジアの中で北九州市は東京と上海の中心
- ・ 上海までは約1,000kmで、東京までと同程度
- ・ 釜山までは230kmで、大阪より近い



個性豊かな7区



ユネスコ無形文化遺産登録された
戸畑祇園大山笠



唐造りの天守閣をもつ
小倉城



大正浪漫ただよう建物が
多く残る門司港レトロ地区



若松と戸畑を結ぶ若戸大橋



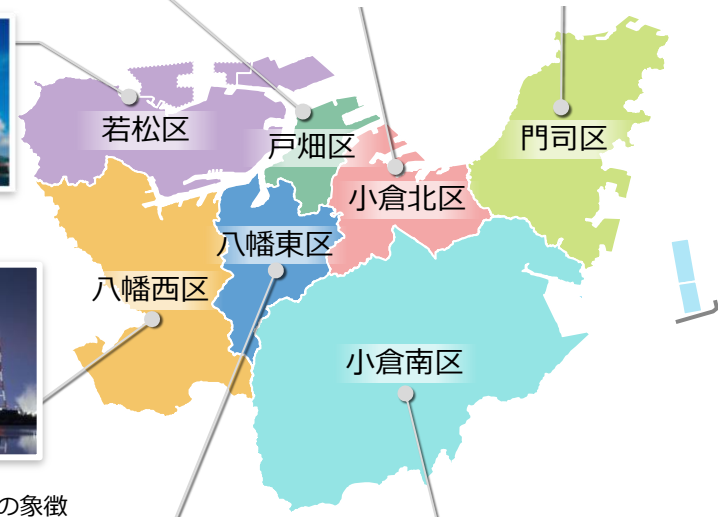
魅力ある工場夜景
三本の赤白煙突は黒崎エリアの象徴

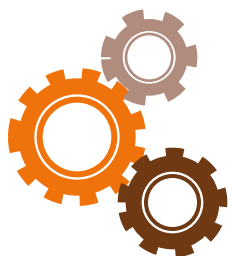


世界文化遺産に登録された
官営八幡製鐵所旧日本事務所



平尾台のカルスト台地





北九州市は、官営八幡製鐵所の創業(1901年)以来
「ものづくりの街」として、日本の近代化と高度成長を支えています

官営八幡製鐵所/旧本事務所

平成27年7月5日、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が、第39回ユネスコ世界遺産委員会において、**世界文化遺産に登録**されました



工業都市として110年の実績

- 素材産業 → プラント・エンジニアリング → 機械・金属加工産業、自動車関連産業 → 環境エネルギー産業等の先端技術へ発達

<日本を代表するものづくり産業が集積(1901年～)>



ものづくりを 牽引する市内企業

- ① TOTO※
- ② 安川電機※
- ③ 三井ハイテック※
- ④ 黒崎播磨※
- ⑤ 新日鐵住金
- ⑥ 日立金属
- ⑦ 三菱化学
- ⑧ ブリヂストン
- ⑨ しゃぼん玉石けん※
- ⑩ ゼンリン※ etc...

※は北九州市内に本社

ものづくりの街・北九州市の成長ポテンシャル

- 災害への強さ、安定的な創業が可能で業務継続性を確保
- 港湾・空港・高速道路網等のインフラや産業用地が充実
- 学術研究都市など理工系大学・研究機関立地で豊富な人材を供給



過去5年間の企業誘致実績
(平成24～28年度)

誘致件数: **185件**

新規雇用: **3,329人**

投資額: **954億円**



北九州市環境マスコットキャラクター
“ていたん&ブラックていたん”



© ていたん&ブラックていたん 北九州市
北九州市環境首都検定を実施

北九州市では、公害克服の技術と経験を生かし、環境国際協力や循環型社会づくりを進めるとともに、「**世界の環境首都**」を目指したまちづくりを推進します

環境分野における取り組み ～公害を克服した技術力を世界へ～

エコタウン事業(平成9年～)の推進

20周年

- ・日本初、日本最大級のエコタウン
- ・環境ビジネスを進め、環境と経済を両立するモデルを構築
- ・循環型社会づくりを着実に推進
- ・770億円の投資、1,000名の雇用、毎年10万人の見学者



北九州市エコタウンセンター

環境国際協力、環境ビジネスの輸出

- ・廃棄物管理、エネルギー、上下水道、環境保全など環境エネルギー技術を輸出

<取り組み>

ハイフォン市 (ベトナム)	グリーン成長推進計画策定支援・U-BCF整備事業(海外水ビジネス)受注
カンボジア 主要9都市	海外水ビジネスの展開
スラバヤ市 (インドネシア)	廃棄物管理・エネルギー・排水処理など総合的なグリーンシティの輸出
インド、中国、 ミャンマー等	エコシティの推進や電気・電子廃棄物のリサイクルなど 大連から研修員の相互派遣・受入を毎年実施
南アフリカ	海水を淡水化するビジネスを展開

ウォータープラザ
北九州ハイフォン市で稼働中のU-BCF
(高度浄水処理装置)

研修員受入れ

これまでのあゆみ

公害克服の経験と実績による高い国際評価

1990年	・国連「グローバル500」受賞
1992年	・「国連自治体表彰」(日本初) 受賞
2000年	・国連ESCAP大臣会合「クリーンな環境のための 北九州イニシアチブ」採択
2002年	・「地球サミット2002持続可能な開発表彰」受賞など
2011年	・OECD「グリーン成長モデル都市」選定 「環境」と「経済」が両立する「グリーン成長都市」として、パリ、 シカゴ、ストックホルムとともに、アジアで初めて選定 ・「グリーンアジア国際戦略総合特区」選定
2013年	・第15回日中韓三カ国大臣会合を北九州市で開催
2016年	・「G7北九州エネルギー大臣会合」開催 2016年5月の伊勢志摩サミットにあわせて北九州市で G7エネルギー大臣会合を開催



G7北九州エネルギー大臣会合



「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「国家戦略特区」のイメージ

まち・ひと・しごと総合戦略の取り組みを「国家戦略特区」で強力に後押し

地方創生の「成功モデル都市」を目指す



国家戦略特区の指定自治体は、

- 国家戦略特区のすべての規制改革メニューを活用可能
- 新規の規制改革提案も区域会議で提案可能



北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

北九州空港の活用

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本として3つの将来像の実現を目指す

1 九州、西中国の物流拠点空港 【物流】

- 東九州・九州・中国自動車道3方向の結節点の物流拠点化を推進し、九州・西中国までを含む広域的な物流拠点空港を目指す

2 北部九州の活発な交流を支える空港 【交流】

- 24時間空港のポテンシャルを生かし、新たな需要を創出
- アジアの成長を受け止め、北部九州の活発な交流を支える空港を目指す



北九州空港

3 航空関連産業の拠点空港 【産業】

- MRJ(三菱リージョナルジェット)の飛行試験拠点として、MRJの製造拠点を目指す
- 航空機部品産業や人材育成拠点、航空機整備産業拠点を目指す



MRJ

ロボット産業などリーディング産業の振興を加速化

我が国をリードする
ロボット産業拠点の形成を目指す

民生用(サービス)ロボットの開発支援

- 介護施設の現場のニーズに基づく新たな開発と実用化



介護ロボット

- 老朽化インフラ点検ロボットの開発・実証支援



インフラ点検ロボット

地域企業のロボット導入支援

- 産業用ロボット導入支援センター等と連携し、市内中小製造業の生産現場へのロボット導入を進める



産業用ロボット

地域エネルギー拠点化の推進

- 響灘海域の風況の良さや太陽光を利用した大規模洋上風力発電・大規模太陽光発電での発電や水素エネルギーを有効活用する社会システム構築のためにスマート水素ステーション(SHS)の設置を推進



洋上風力発電(響灘海域)



響灘ソーラーウェイ



SHS(若松区)

日本一起業しやすいまちづくり

ものづくりの高い技術力と産学官金が連携した
“日本一スタートアップしやすいまち”の形成を目指す

- 産学官金からなる「北九州スタートアップネットワークの会」創設
- 「北九州スタートアップラウンジ」の開催
- スタートアップ向け民間ファンドの創設
- スタートアップ支援事業



スタートアップラウンジ



北九州市への定住・移住の流れをつくり、時代に即した街をつくる

定住・移住の促進

- 人口減少・超高齢化社会への対応
 - ⇒ 女性や若者の定着などにより、社会動態をプラスに
 - ⇒ 北九州市版「生涯活躍のまち」の形成を通じてアクティブシニアを呼び込む

定住・移住促進のための施策



定住・移住促進のための施策

- 住むなら北九州市！応援団体制度
- 移住相談員（首都圏）、移住コーディネーター（北九州市）の設置
- お試し居住
- ポータルサイト「北九州ライフ」、SNSなどによる情報発信
- 若者の地元就職促進

若者の地元定着

<KITAKYUSHUゆめみらいワーク>

- 北九州地域で学び育った学生が、早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るイベント
- 地元インターンシップを充実させ、若者の地元就職を促進



50歳から住みたい地方ランキング

対象：「生涯活躍のまち」を推進する意向がある自治体のうち191の市区町村

出所：田舎暮らしの本（平成28年8月号）

第1位

- ① 充実した医療・介護
- ② セミナーやお試し居住など移住者歓迎度の高さ
- ③ 地域の高齢者施設で自立した暮らしをサポート
など、高い評価を獲得

北九州市版「生涯活躍のまち」の取組

- 官民一体となった定住・移住促進施策の実施
- 介護ロボット導入による介護・医療体制の改良
- シニア・ハローワークとの連携による人材還流促進

移住に伴うシニア就労支援 シニア・ハローワーク

全国初

- 市と国との連携による概ね50歳以上の求職者を対象とする就業相談窓口を設置



シニア・ハローワーク戸畑



北九州市の若い世代を支援し、夢のある街をつくる

ウーマンワークカフェ北九州の開設

- 国・県・市が一体となり、女性の”はたらく”をワンストップで総合的に支援
⇒ 政令市において、国・県・市が一体となって女性の就業支援に取り組むのは**全国初**
- ⇒ 開設により新規利用者数約**50%**増加



「北九州女性創業支援 ひなの会」設立

- 日本一創業しやすいまちを目指し、平成29年4月に、民間企業が中心となって女性の創業を支援する団体「**ひなの会**」を設立



子育て・教育の充実

対象：主要65都市、東京23区
次世代育成環境ランキング
(平成23～28年度 6年連続11回目)
出所：特定非営利活動法人(NPO)エガリテ大手前
対象：首都圏、中京圏、関西圏の主要市区と全国の政令指定都市、県庁所在地の162自治体
共働き子育てしやすい街ランキング
(平成28年度)
出所：日経DUAL×日本経済新聞の自治体調査

政令市
第1位

<子育てに関する取り組み>

1 放課後児童クラブ(学童保育クラブ)の全児童化

- 概ね小学校区ごとに設置しており、低学年や留守家庭の児童に限らず、希望するすべての児童が利用可能

2 多様な保育サービスの充実

- 各区役所には保育サービスコンシェルジュを配置し、一時保育、幼稚園預かり保育などの情報を提供

3 小児救急医療体制の充実

- 24時間365日の小児救急を実施している小児救急センターをはじめ、夜間・休日の小児救急体制が充実

4 子育て施設の充実

- 「子育てふれあい交流プラザ」、「子どもの館」を設置。
- 市内7区の区役所などに、「親子ふれあいルーム」を開設。



子育てふれあい交流プラザ



子どもの館



人を惹きつける都市をつくり、にぎわいを創出する

産業観光都市

官民一体となった北九州ならではの
「ものづくり観光」を推進

TOTOミュージアム



- TOTOのモノづくりへの想いや製品の進化を紹介

安川電機みらい館



- ものづくりの魅力、ロボットの最新技術などを発信する展示・体感・学習施設

官営八幡製鐵所旧本事務所



- 「世界文化遺産」に登録された「官営八幡製鐵所関連施設」

北九州アイアンツリー



- 「北九州アイアンツリー」は北九州工場夜景のシンボル

大会・イベント等の開催

西日本屈指のMICE開催拠点として
にぎわいと活力あふれるまちづくりを推進

TGC KITAKYUSHU 2017

平成29年10月21日開催
西日本総合展示場

【昨年実績】

来場者数 延べ12,900人
経済効果等 約17億円



ワールドラグビー女子セブンズ

平成29年4月22日・23日開催
ミクニワールドスタジアム北九州



北九州マラソン

平成30年2月18日開催予定

【昨年実績】

平成29年2月19日開催
参加者数約1万人





人を惹きつける都市をつくり、にぎわいを創出する

大規模国際大会の誘致

官民一体の組織「北九州市大規模国際大会等誘致委員会」をベースに、大規模国際大会等の誘致活動を展開

世界ダンススポーツ選手権 ユーススタンダード2016

平成28年7月9日、10日開催
会場：北九州市総合体育館



日本初開催

2017パラ・パワーリフティング ジャパンカップ

平成29年7月16日開催
会場：北九州芸術劇場



<誘致事業>

- ・第7回国際将棋フォーラムin北九州
(平成29年10月28、29日)
- ・卓球ジャパンオープン北九州大会開催
(平成30年6月6日～10日)
- ・2020年東京オリンピック事前キャンプ(タイ)決定
- ・ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地

フィルムコミッション

北九州フィルム・コミッションは、日本初のフィルム・コミッション組織
都市イメージの向上を目的として、
映画、テレビドラマ、CMなどのロケ 誘致・支援業務を推進

経済波及効果 6億6,015万円(過去最高)

誘致・支援実績 累計330本(平成29年3月末現在)

受賞 東京ドラマアウォード2014・特別賞
平成28年度ふるさとづくり大賞・団体表彰

<撮影支援本数の前年度対比等>

	H28年度	H27年度	累計 (H元年～H29.3末)
合計	35本	33本	330本
映画	4本	5本	88本
テレビドラマ	23本	20本	156本
CM 等	8本	8本	86本

撮影風景





高齢者の活躍や介護サービスの充実による人口減少・高齢化社会への対応

1

先進的介護・高齢者活躍拠点の形成

先進的介護の実証実装

■ 介護ロボット等の活用

- ・ロボット技術等の導入促進による介護職員の負担軽減と介護の質の向上を図る



PALRO (コミュニケーションロボット) ロボットアシストウォーカー (電動歩行アシストカート) Tree (歩行リハビリ支援ツール)

■ 介護ロボット開発拠点の形成

- ・市内で実施される介護現場へのロボット導入実証事業に関して、現場ニーズに沿った実用的な技術開発と特区事業効果の最大化に貢献するため、「北九州市介護ロボット開発コンソーシアム」を設置

2

創業・雇用創出拠点の形成

官民の人材移動の柔軟化

■ 国家公務員退職手当法の特例

- ・特定事業者が行う事業の実施に必要な人材であって、国家公務員としての経験を有するものの確保を支援
- ・創業者の人材確保を支援することで、ベンチャー企業の創業倍増を促し、日本一起業しやすいまちづくりを目指す

郊外エリアにおける「特区民泊」

■ 特区民泊

- ・自然体験と地域住民との交流をテーマとした特区民泊を実施し、これまで以上に幅広い観光客を集客



3

国内外の交流・インバウンド拠点の形成

エリアマネジメントの民間開放

■ 公道を活用したにぎわいの創出

- ・道路法の特例を活用し、道路でのオープンカフェ等によってまちのにぎわいを創出



特産酒類の製造事業（ワイン特区）

■ 「汐風香る魅惑のワイン特区」

- ・酒類製造免許に係る最低製造数量基準軽減（6キロリットル→2キロリットル）
- ・2018年に若松産ブドウのワインが誕生



若松で「北九州産ワイン」を製造

高齢者活躍拠点の形成

■ シニア・ハローワークの設置

- ・「シニア・ハローワーク戸畑」を設置し、高齢者等への重点的な就職支援を実施



ウェルとばた



シニア・ハローワーク戸畑

特定非営利活動法人の設立促進

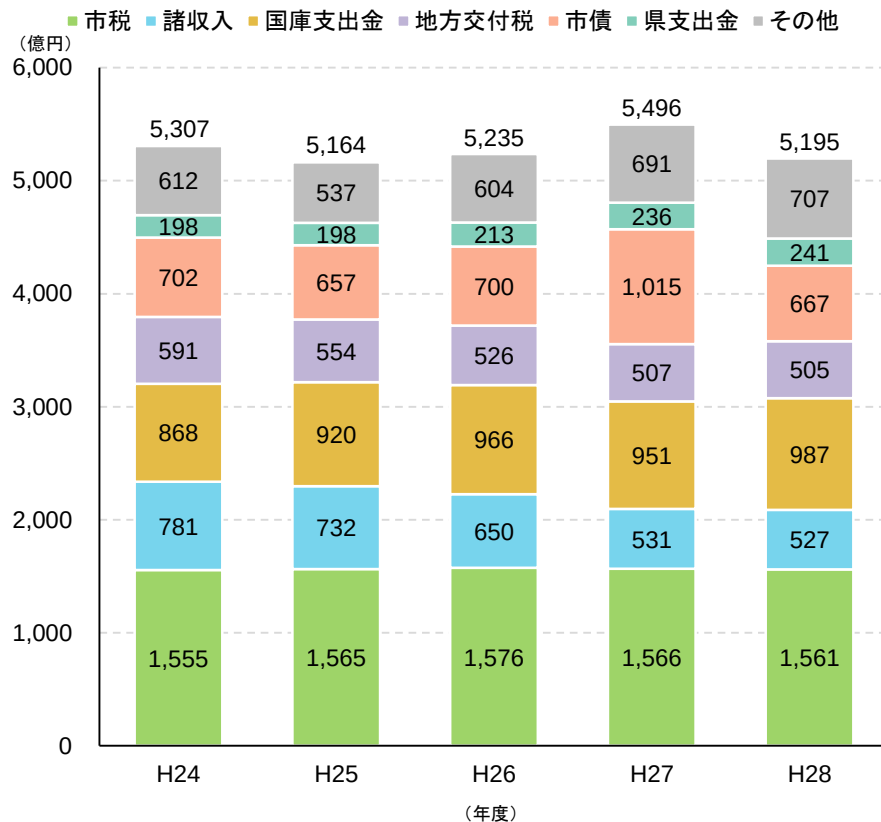
■ NPO法人設立時の縦覧期間短縮

- ・NPO設立を促進するため、市が行う申請書類縦覧期間を2ヶ月から2週間に短縮

2. 北九州市の財政状況

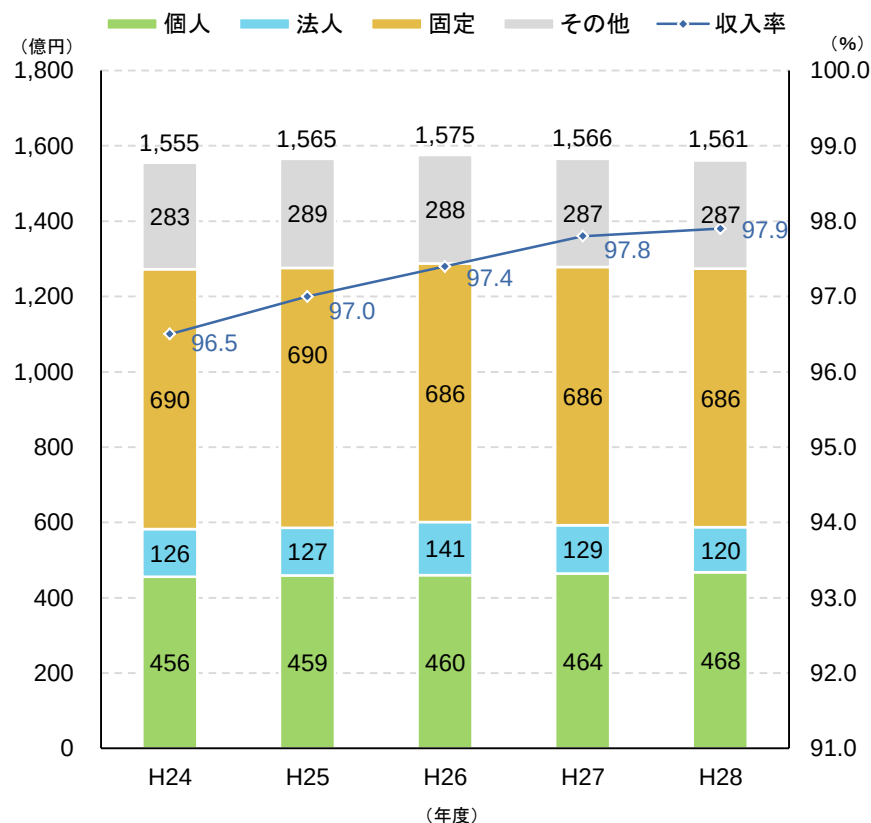
歳入決算額の推移(普通会計)

- 国の税制改正に伴い、法人市民税の税率が引下げられたこと等の影響により、市税は2年連続の減少
- 市債については、前年度の三セク債発行の影響により対前年度比311億87百万円(▲44.8%)減少



市税収入額の推移(普通会計)

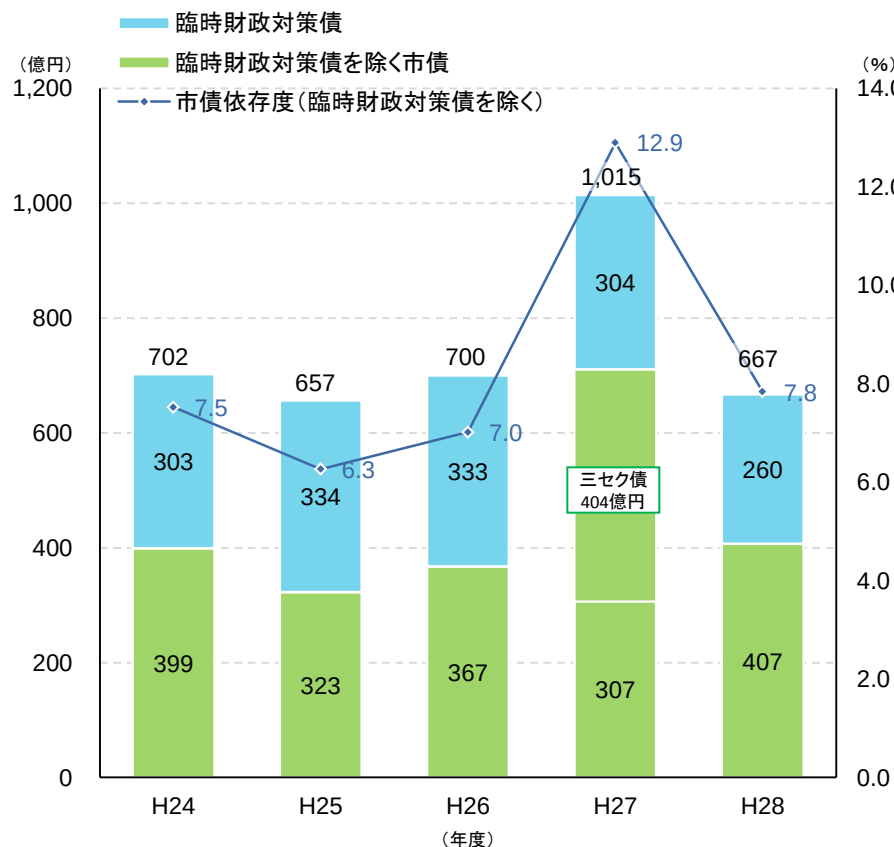
- 個人市民税が増加する一方、法人市民税が減少した影響等により、対前年度比4億51百万円(▲0.3%)減少
- 市税収入率は97.9%と6年連続上昇となり、市発足以来最高の収入率に





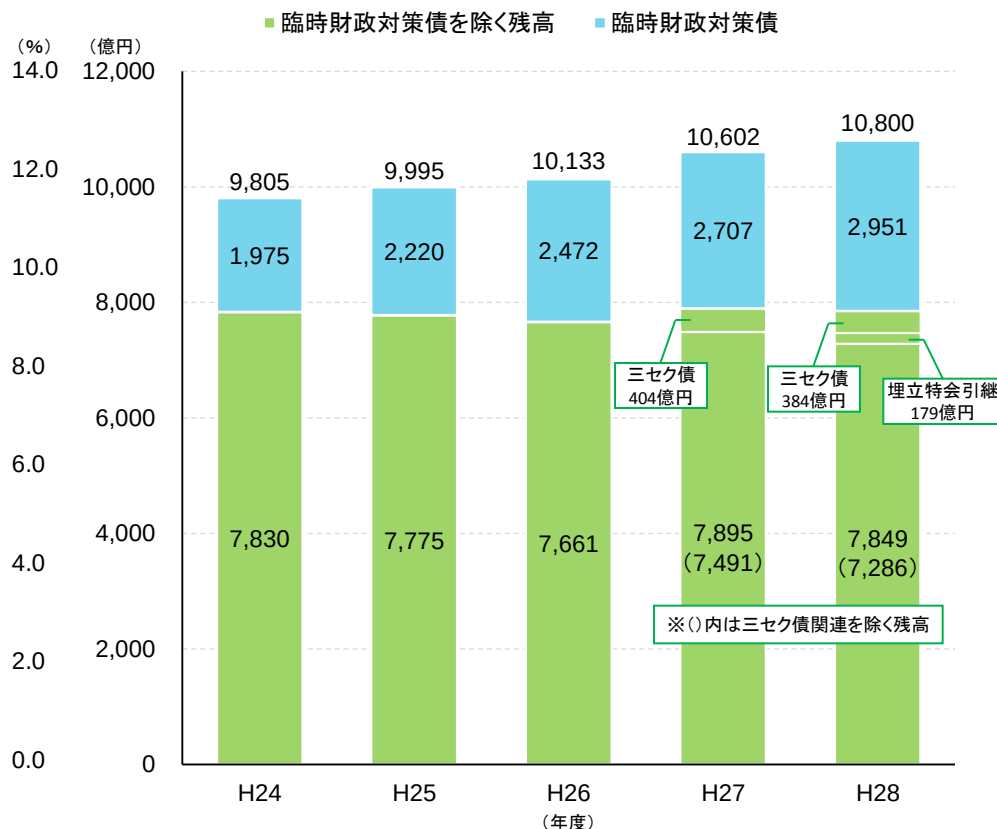
市債発行額と市債依存度の推移(普通会計)

- 地方交付税の振り替えである臨時財政対策債を除く市債発行額は407億円で、前年度の三セク債発行の影響により対前年度比304億円(▲42.8%)減少、歳入全体に占める市債の割合は前年度を5.1ポイント下回り7.8%に低下
- 臨時財政対策債を含む発行額は667億円で、昨年度1,015億円から348億円(▲34.3%)減少



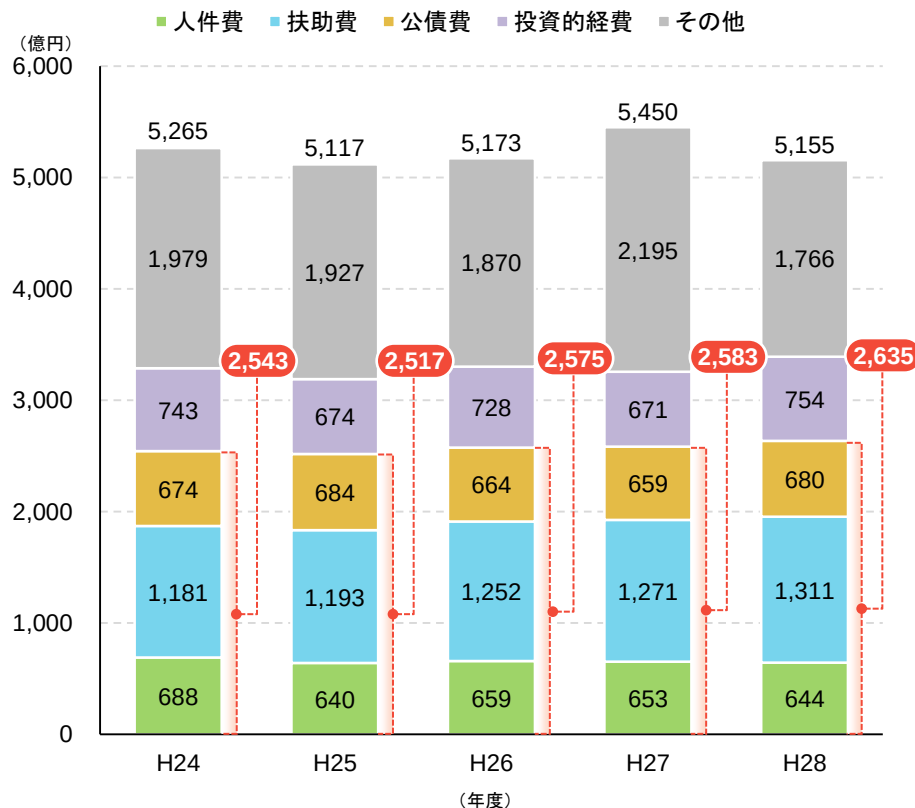
市債残高の推移(普通会計)

- 臨時財政対策債及び三セク債関連を除く公共事業等にかかる市債残高は7,286億円となり、対前年度比205億円(▲2.7%)減少



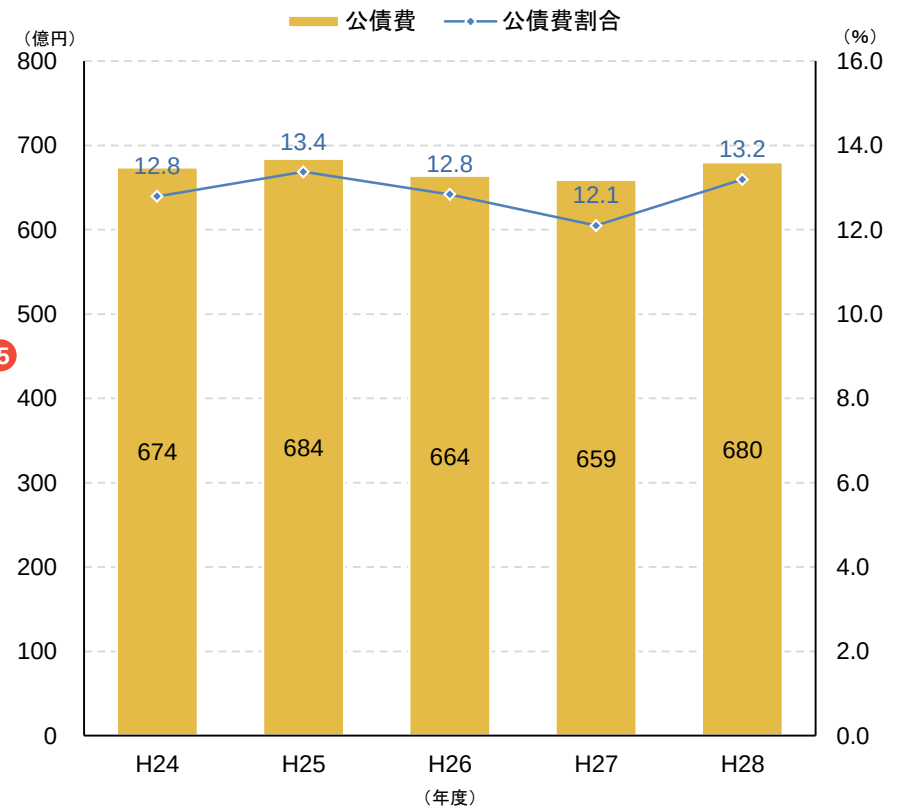
歳出決算額の推移(普通会計)

- ・ 義務的経費は、3年連続の増加
- ・ 扶助費は、臨時福祉給付金や障害福祉関係経費の増加により過去最高額に
- ・ 投資的経費はスタジアム整備事業費の増加等の影響により増加(平成29年3月完成)



公債費の推移(普通会計)

- ・ 公債費は、公債償還基金積立金の増等により、対前年度+2.5%の増加



健全化判断比率

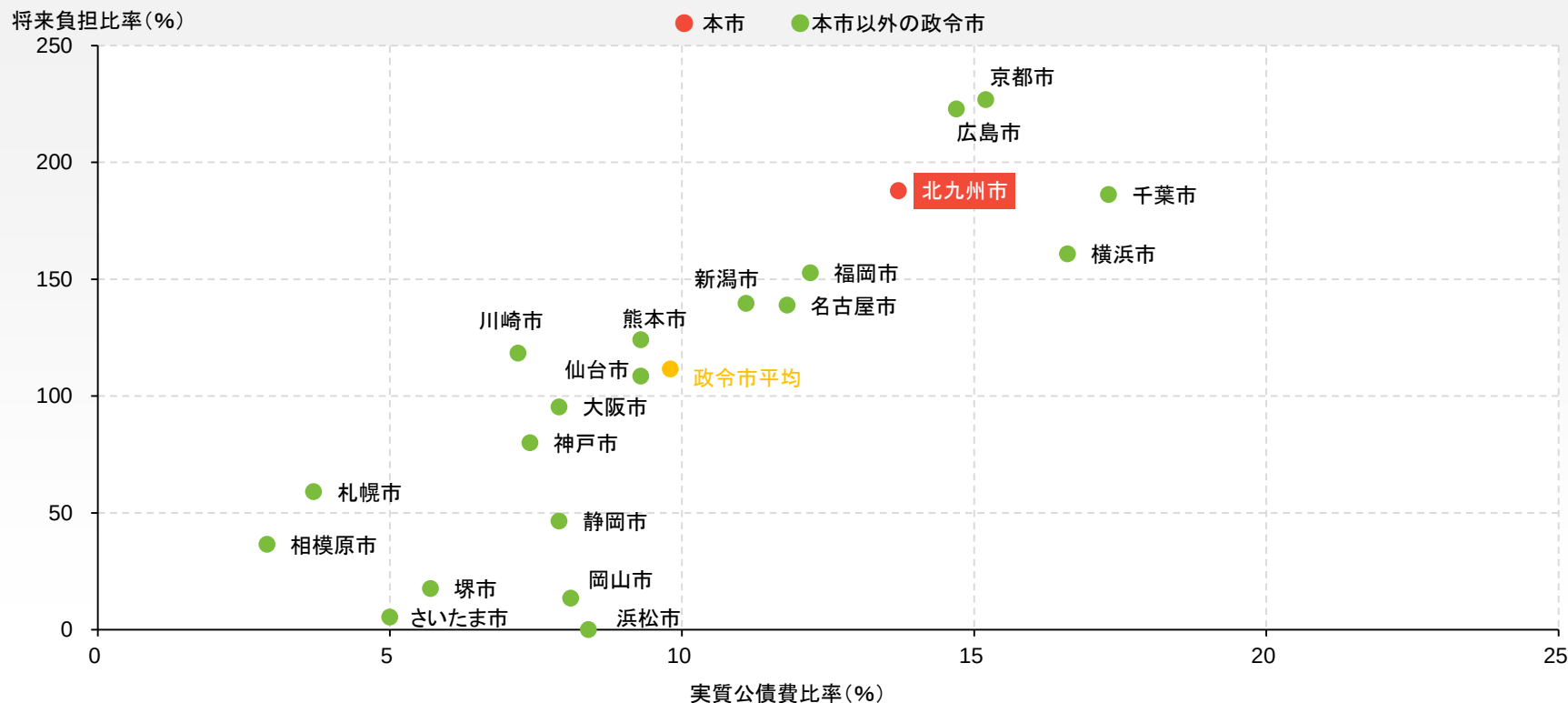
自治体財政の健全化を示す「健全化判断比率」は、全ての指標で基準値を大きく下回る

⇒ **財政規律を堅持し財政の健全性を維持**

- ・ 実質赤字比率は、連結ベースを含め「比率なし」の黒字を確保
- ・ 実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値を大きく下回る

区分	北九州市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	-	16.25%	30.00%
実質公債費比率	13.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	187.9%	400.0%	-

実質公債費比率、将来負担比率の政令市の状況



平成28年度 公営企業の決算状況

(単位: 百万円)

- 公営企業会計全てにおいて十分な資金剰余を確保
- 水道事業については、「平成29年度優良地方公営企業総務大臣表彰」を受賞

区分		上水道事業			工業用水道事業			交通事業			病院事業			下水道事業		
事業内容		水道事業の経営と施設整備 国際技術協力の推進			工業用水道の 経営と施設整備			市営バス事業の 経営と施設整備			市立病院の 経営と施設整備			下水道事業の経営と施設整備 国際技術協力の推進		
決算年度		H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
収益的 収支	収入	20,419	20,147	21,454	1,874	1,804	1,819	1,824	1,839	1,793	23,714	23,565	23,773	28,650	29,492	28,730
	支出	20,856	18,329	18,956	1,758	1,405	1,343	2,457	1,765	1,825	24,654	24,714	25,007	28,317	27,656	27,152
	差引(A)	▲ 438	1,818	2,498	115	399	476	▲ 633	74	▲ 32	▲ 939	▲ 1,149	▲ 1,234	332	1,836	1,578
資本的 収支	収入	4,431	5,148	4,137	21	48	249	54	77	78	2,069	2,028	5,014	14,473	13,511	13,272
	支出	13,720	13,043	12,072	841	556	974	152	181	197	2,953	3,318	6,178	25,929	25,437	24,916
	差引(B)	▲ 9,288	▲ 7,895	▲ 7,935	▲ 820	▲ 508	▲ 725	▲ 98	▲ 104	▲ 119	▲ 884	▲ 1,290	▲ 1,164	▲ 11,456	▲ 11,926	▲ 11,644
差引収支(A+B)		▲ 9,726	▲ 6,077	▲ 5,437	▲ 704	▲ 109	▲ 249	▲ 731	▲ 30	▲ 151	▲ 1,823	▲ 2,439	▲ 2,398	▲ 11,124	▲ 10,089	▲ 10,066
補填財源等		9,989	6,289	5,772	738	128	265	658	34	69	2,580	1,862	2,058	11,035	10,300	9,904
単年度資金収支		263	212	335	34	18	16	▲ 73	4	▲ 82	757	▲ 577	▲ 340	▲ 88	211	▲ 162
年度末資金剰余		5,053	5,265	5,600	1,741	1,759	1,775	1,643	1,647	1,565	4,294	3,717	3,377	2,883	3,093	2,931

地方三公社の決算状況について

平成28年度 地方三公社の決算状況

(単位: 百万円)

- 地方三公社は、いずれも安定した経常利益、剰余金を確保

公社名 決算年度		北九州市住宅供給公社			北九州市道路公社			福岡北九州高速道路公社		
		H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
出資状況	出資団体数	2	1	1	1	1	1	3	3	3
	出資総額	10	10	10	742	742	742	221,298	221,298	221,520
	出資当該団体	10	10	10	742	742	742	28,748	28,748	28,748
	出資その他団体	0	0	0	0	0	0	192,550	192,550	192,772
貸借対照表	流動資産	2,696	2,745	3,098	1,129	1,236	1,950	5,749	5,814	5,595
	固定資産	15,781	15,494	15,211	11,324	11,300	11,272	1,249,103	1,250,650	1,254,140
	繰延資産							860	879	928
	資産合計	18,477	18,239	18,309	12,453	12,536	13,222	1,255,712	1,257,343	1,260,663
	流動負債	969	757	1,105	132	122	132	88,787	93,142	73,896
	固定負債	10,703	10,502	10,086	6,523	5,976	5,794	580,808	542,545	526,661
	特別法上の引当金等				5,056	5,696	6,554	363,892	399,381	437,554
	負債合計	11,672	11,259	11,191	11,711	11,794	12,480	1,033,487	1,035,068	1,038,111
	資本金	10	10	10	742	742	742	221,298	221,297	221,520
	剰余金	6,795	6,970	7,108				928	978	1,032
損益計算書	資本合計	6,805	6,980	7,118	742	742	742	222,226	222,275	222,552
	負債・資本合計	18,477	18,239	18,309	12,453	12,537	13,222	1,255,712	1,257,343	1,260,663
	営業収益 (a)	5,519	5,429	5,428	1,293	1,332	1,338	57,176	58,415	60,017
	営業費用 (b)	5,248	5,112	5,149	584	658	784	47,087	49,117	52,169
	一般管理費 (c)	148	148	143	98	94	95	1,406	1,388	1,124
	営業利益 (d=a-b-c)	123	168	136	611	580	459	8,683	7,910	6,724
	営業外収益 (e)	8	14	12	5	89	411	52	46	35
	営業外費用 (f)	51	7	10	35	29	12	8,685	7,906	6,705
	経常利益 (g=d+e-f)	81	176	138	581	640	858	50	50	54
	特別利益 (h)									
	特別損失 (i)	14			581	640	858			
	特定準備金計上前利益 (j=g+h-i)	66	176	138	0	0	0	50	50	54
	特定準備金取崩 (k)									
	特定準備金繰入 (l)									
	法人税等 (m)									
	当期利益 (n=j-m)	66	176	138	0	0	0	50	50	54
	住宅供給公社については (n=j+k-l-m)	66	176	138						

平成28年度 外郭団体(地方三公社を除く)の決算状況

(単位: 百万円)

- 各々の法人の特性に応じた正味財産、経常利益を確保

法人名	貸借対照表			損益計算書(正味財産増減計算書)		
	資産	負債	正味財産 (自己資本)	収益	費用	経常利益(※)
(公財)アジア成長研究所	1,076	54	1,022	169	205	▲ 36
(公財)北九州国際交流協会	382	6	376	75	76	▲ 1
(公大)北九州市立大学	19,901	5,000	14,901	7,158	7,245	▲ 87
(公財)アジア女性交流・研究フォーラム	416	33	383	428	422	6
(公財)北九州市芸術文化振興財団	370	275	95	1,756	1,765	▲ 9
(公財)北九州国際技術協力協会	680	21	659	415	220	195
(公財)北九州市環境整備協会	970	144	826	846	828	18
(株)北九州輸入促進センター	8,815	3,479	5,336	1,328	1,026	302
(株)北九州テクノセンター	2,050	34	2,016	149	136	13
(株)北九州ヒューマンメディア創造センター	1,505	134	1,371	268	271	▲ 3
(公財)北九州産業学術推進機構	1,193	416	777	2,232	2,236	▲ 4
皿倉登山鉄道(株)	141	100	41	141	120	21
(公財)北九州観光コンベンション協会	3,793	387	3,406	1,043	939	104
(公財)福岡県豊前海漁業振興基金	2,300	0	2,300	55	53	2
(公財)北九州市どうぶつ公園協会	888	214	674	570	579	▲ 9
北九州高速鉄道株式会社	17,921	5,006	12,915	2,404	2,432	▲ 28
ひびき灘開発(株)	12,861	1,810	11,051	2,773	1,800	973
北九州埠頭(株)	465	130	335	409	390	19
北九州貨物鉄道施設保有(株)	3,301	2,903	398	322	318	4
北九州エアターミナル(株)	4,637	504	4,133	842	755	87
(株)北九州ウォーターサービス	454	311	143	1,716	1,628	88
(公財)北九州市学校給食協会	278	280	▲ 2	3,437	3,447	▲ 10

※ 公益財団法人は一般正味財産増減額(税引前)

- 本市では、平成26年度以降の新たな行財政改革の大きな方向性として、平成26年2月に「北九州市行財政改革大綱」を策定
- この大綱の具体的な取り組み内容については、「北九州市行財政改革推進計画」としてとりまとめ、毎年度、見直しを行いつつ、当該推進計画や取り組み結果等を予算・決算期に公表
- 持続可能で安定的な財政の確立・維持に努めるため本大綱を策定し、より一層の事業の「選択と集中」を行う

平成28年度の行財政改革の取り組み

簡素で活力ある市役所の構築

- 課題解決型・成果重視型組織の構築
- 簡素で効率的な組織・人員体制の推進
- 職員数の削減(平成8年度11,358人⇒平成28年度8,277人)
- 職員給与の適正化

効果額 **641** 百万円

外郭団体改革

- 外郭団体の役割に照らし、各団体のあり方を見直し
- 市の適切な関与による政策の実現
- 外郭団体への財政支出精査

効果額 **53** 百万円

官民の役割分担と持続的な仕事の見直し

- ごみ収集や給食調理業務など定型的業務の民間委託化等
- 民間活力の更なる導入の視点から持続的事業を点検見直し
- 裁量的経費の見直し

効果額 **2,732** 百万円

公共施設のマネジメント

- 公共施設の総量抑制(今後40年間で保有量約20%削減)
- 施設分野別の実行計画等の推進

効果額 **2** 百万円

平成28年度における行財政改革効果額

3,428百万円(全会計ベース)

3. 北九州市の起債運営について



Kitakyushu Commitment

KC1

市場との対話を重視し、投資家の皆様に広く受け容れていただけるよう起債運営に努めます。

KC2

投資家の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて、商品性の向上に努めます。

起債運営の特長

1 多様な年限での発行

- 投資家の皆様の多様なニーズに応えるため、5年債、10年債、超長期債を発行します。
- 5年債は「シ団交渉方式」、10年債は「競争型幹事方式」、超長期債は「主幹事方式」により発行します。

2 フレックス枠の設定

- 年度の発行計画において、年限を予め定めない「フレックス枠」を設定しています。
- 年限多様化への対応や増額への対応など投資家の皆様のニーズに応じて、「フレックス枠」を活用して柔軟に対応いたします。

3 年間主幹事制の採用

- 全ての年限の起債運営に関わる「年間主幹事制」を採用しています。
- 年間主幹事を通じて投資家の皆様との対話を行いながら、市場環境を踏まえた柔軟かつ機動的な起債運営に努めます。

これまでの取り組み

平成18年度

- ・ **20年債**を初起債
- ・ 個別条件交渉方式へ移行

平成24年度

- ・ 10年債で**競争型幹事方式**を導入

平成25年度

- ・ 超長期債で**年間主幹事制**を導入

平成26年度

- ・ **15年債**を初起債

平成27年度

- ・ **20年定時償還債**を初起債
- ・ **30年定時償還債**を初起債
- ※地方債市場初

平成28年度

- ・ **10年債**で**主幹事方式**を導入
- ・ **10年定時償還債**を初起債

平成28年度第1回北九州市債にて10年物地方債で初めて絶対値プライシングを導入
超低金利下での起債運営スタイルを示したと評価されて各賞を受賞



- ▶▶ DEAL WATCH AWARDS 2016 『Local Government Bond of the Year』
- ▶▶ キャピタル・アイ Awards BEST DEALS OF 2016 『地方債等部門「BEST DEAL OF 2016」』

平成29年度市債発行計画

- 平成29年度の市場公募債(全国型)は、年間1,050億円を発行予定
- 5年債は9月に150億円と住民参加型の5億円を発行、10年債は12月に200億円を発行予定
- 超長期債200億円は、フレックス枠200億円と合わせ、全て定時償還債に活用し、5月に30年定時償還債200億円、6月に20年定時償還債200億円を発行
- 共同発行債を300億円(年6回)発行予定

平成29年度市場公募債発行計画

(単位: 億円)

年限	平成29年度 市場公募債発行予定: 合計1,050億円												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						150							150
10年債									200				200
超長期債(20年定時償還債)			200										200
超長期債(30年定時償還債)		200											200
フレックス枠		30年定時 100増額	20年定時 100増額										(200)
共同発行債	50	50		50	50			50			50		300
合計	50	250	200	50	50	150		50	200		50		1,050
5年債(住民参加型) 「北九州市ひまわり債」						5							5

平成29年度市場公募債(個別債)発行実績

	北九州市 第4回 30年公募公債 (定時償還)	北九州市 第4回 20年公募公債 (定時償還)	北九州市 平成29年度 第1回公募公債 (5年・住民)	北九州市 平成29年度 第2回公募公債 (5年)
条件決定日	H29.5.18	H29.6.2	H29.9.6	H29.9.8
発行額	200億円	200億円	5億円	150億円
表面利率	0.689%	0.358%	0.050%	0.020%
発行価額	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭
発行日	H29.5.29	H29.6.12	H29.9.27	H29.9.27
償還日	H59.5.29	H49.6.12	H34.9.27	H34.9.27

平成28年度市場公募債発行実績

(単位: 億円)

年限	平成28年度 市場公募債発行実績: 合計1,200億円												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						150							150
10年債	100								100				200
10年定時償還債									100				100
超長期債(20年定時償還債)			100					100					200
超長期債(30年定時償還債)			100		100								200
共同発行債	50	50	50	50	50			50				50	350
合計	150	50	250	50	150	150		150	200			50	1,200
5年債(住民参加型) 「北九州市ひまわり債」						5							5

平成28年度市場公募債(個別債)発行実績

	北九州市 平成28年度 第1回公募債	北九州市 第2回 30年公募債 (定時償還)	北九州市 第2回 20年公募債 (定時償還)	北九州市 第3回 30年公募債 (定時償還)	北九州市 平成28年度 第2回公募債 (5年・住民)	北九州市 平成28年度 第3回公募債 (5年)	北九州市 第3回 20年公募債 (定時償還)	北九州市 第1回 10年公募債 (定時償還)	北九州市 平成28年度 第4回公募債
条件決定日	H28.4.6	H28.6.1	H28.6.9	H28.8.26	H28.9.2	H28.9.2	H28.11.18	H28.12.7	H28.12.7
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	5億円	150億円	100億円	100億円	100億円
表面利率	0.080%	0.448%	0.190%	0.387%	0.050%	0.001%	0.291%	0.087%	0.165%
発行価額	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭	100円00銭
発行日	H28.4.15	H28.6.13	H28.6.20	H28.9.6	H28.9.28	H28.9.28	H28.11.28	H28.12.16	H28.12.16
償還日	H38.4.15	H58.6.13	H48.6.20	H58.9.6	H33.9.28	H33.9.28	H48.11.28	H38.12.16	H38.12.16

4. 北九州市債の活用状況について



～安心して子どもを生み育てることができる「まち」の創出～

ひびきの小学校の新設

- 市民センター、放課後児童クラブを合築した複合施設
(市内新設校では初)



ひびきの小学校

～新しい「ひと」の流れをつくる～

ミクニワールドスタジアム北九州(北九州スタジアム)の整備

- 1万5千人収容の高規格スタジアム
- 小倉駅新幹線口から徒歩7分
- 「海ちか、街なかスタジアム」



ミクニワールドスタジアム北九州

～誰もが安心して暮らせる「まち」の創出～

総合療育センターの再整備

今後活用する事業

- 平成30年度中の開所に向け、障害児の療育及び医療の中核施設である総合療育センター再整備工事を実施



総合療育センター(平成30年完成予定)

～安心して子どもを生み育てることができる「まち」の創出～

小倉南図書館の整備

今後活用する事業

- 開館に向け準備中



小倉南図書館(平成30年3月完成予定)



ふるさと北九州市応援寄附金

北九州市では、皆様からの寄附を募集しています。
北九州市出身の皆様、ゆかりのある皆様、北九州市を応援して下さる皆様の想いを、北九州市の更なる発展に向けて活用させていただきます。



《 寄附者へのお返し（返礼品）の一例 》

平成29年度は、「住みよいまち・北九州市」や「環境未来都市」を実感していただくため、「もの」から「こと」を基本として、4つのキーワードで返礼品を拡充しました。

北九州へ行こう！

名古屋⇄北九州航空券 大阪⇄北九州乗船券
JTB ふるさと納税 旅行クーポン
北九州への交通、宿泊に使える旅行券

北九州を体験しよう！

期間限定 スペースワールド 世界遺産 宮官八幡製鐵所 工場夜景クルーズ
見学バスツアー

北九州のエコ製品を体験しよう！

シャボン玉石けん ガーデン（ミスト）クーラー 節水低水圧シャワーヘッド

北九州の百貨店セレクトを味わおう！

なごし 抹茶生大福 平塚 明太子 中村屋 ひですけ餅

《 寄附のお手続きについて 》

インターネットでの申込み

次の方法で申込フォームへアクセスしてください。
① 北九州市ホームページへアクセス
② ホームページに従い、寄附申込フォームへ移動
③ 寄附者情報を入力し、寄附申込
※寄附は、クレジットカード決済又は郵便局払のどちらかが選べます。

お電話での申込み

① コールセンターへお電話ください。寄附申込書や専用の納付書（郵便局）を自宅等へ郵送します。
② 寄附申込書を記入し、ご郵送ください。また、納付書を記入し、郵便局へお持込ください。
③ 郵便局でお振込みください。
※クレジットカードは使えません。

北九州市 ふるさと納税

検索

QRコードからもお申込みができます。



お問い合わせ先＜コールセンター＞

JTBふるさと納税 北九州市コールセンター

電話 0570-666-532

メール frupo-cs@west.jtb.jp

北九州市財政局財務部財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号

TEL:093-582-2003 FAX:093-582-2070

E-mail: zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp